

# 回復期リハビリテーション病棟について

令和2年7月に回復期リハビリテーション病棟入院料6（46床）を開設し、令和3年1月より回復期リハビリテーション病棟入院料1（46床）上位届出となりました。

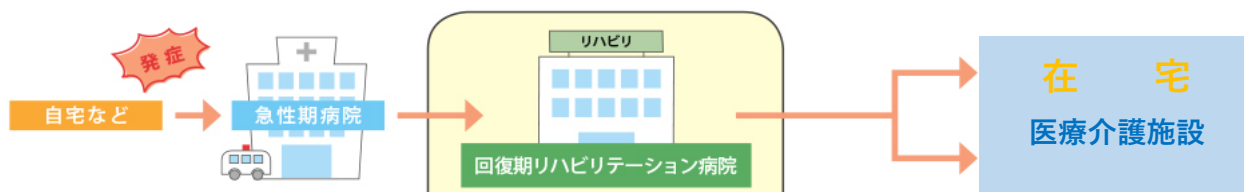
この回復期リハビリテーション病棟は、秋田県内で医療機関8施設が保有しており、当院がこの度届出いたしました回復期リハビリテーション病棟1は県内5施設目となります。

（回復期リハビリテーション病棟1は秋田県北では初）

また、国が政策として打ち出している地域医療構想の中で大館鹿角医療圏では回復期病床が少ないと示されたことによる地域医療貢献も併せて構築することが出来ました。

下記に回復期リハビリテーション病棟の特色をお示しいたします。

## 入院から退院までの流れ



入院対象患者	入院上限日数
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	180日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	90日
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	90日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	60日
股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日

## ★ 急性期病棟から回復期病棟への転院について

発症から急性期医療～リハビリ～療養と推移していく中で質の高い医療を地域で維持するために効果があると期待されており、当院も秋田県北地域脳卒中医療連携研究会に参加しています。

整形外科疾患以外の脳血管リハや廃用症候群のリハビリテーションも対応いたしますのでご相談ください。